



# 日本スーパーマーケット協会

## 平成26年1月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

### ① 売上高・前年同月比

|       | 全 店           |               |                 | 既 存 店         |                 |
|-------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
|       | 売上高           | 構成比(前月)       | 前年同月比(前月)       | 売上高           | 前年同月比(前月)       |
| 総 額   | 50,685,859 万円 | 100.0%        | 102.5% (103.4%) | 48,767,698 万円 | 100.1% (100.9%) |
| 食 料 品 | 41,893,729 万円 | 82.7% (82.6%) | 103.1% (104.0%) | 40,209,612 万円 | 100.2% (101.2%) |
| 農 産   | 6,449,802 万円  | 12.7% (12.0%) | 104.5% (108.5%) | 6,308,293 万円  | 101.7% (105.8%) |
| 水 産   | 4,487,712 万円  | 8.9% ( 9.2%)  | 102.7% (103.5%) | 4,222,073 万円  | 99.6% (100.8%)  |
| 畜 産   | 5,128,080 万円  | 10.1% (10.1%) | 108.0% (106.6%) | 5,016,717 万円  | 105.0% (103.5%) |
| 惣 菜   | 4,464,902 万円  | 8.8% ( 8.6%)  | 104.3% (105.5%) | 4,264,180 万円  | 100.7% (102.2%) |
| 日配食品  | 9,177,279 万円  | 18.1% (17.7%) | 103.1% (104.1%) | 8,759,946 万円  | 100.5% (101.3%) |
| 加工食品  | 12,185,954 万円 | 24.1% (25.0%) | 100.0% (100.7%) | 11,638,403 万円 | 97.4% ( 98.1%)  |
| 生活関連  | 3,483,519 万円  | 6.9% ( 7.2%)  | 100.3% (100.4%) | 3,408,624 万円  | 99.2% ( 99.3%)  |
| 衣 料 品 | 1,903,269 万円  | 3.7% ( 3.6%)  | 97.0% ( 94.3%)  | 1,863,771 万円  | 97.2% ( 94.5%)  |
| そ の 他 | 3,405,342 万円  | 6.7% ( 6.6%)  | 101.2% (103.6%) | 3,285,691 万円  | 100.8% (102.2%) |

### ② 数 値

|        |                            |       |           |
|--------|----------------------------|-------|-----------|
| 全店総売上高 | 50,685,859 万円              | 店 舗 数 | 4,483 店舗  |
| 総売場面積  | 8,675,730.4 m <sup>2</sup> | 総従業員数 | 228,904 人 |

|                         |                   |                  |                        |
|-------------------------|-------------------|------------------|------------------------|
| 店舗平均月商                  | 11,306.2 万円       | 平均客単価<br>(前年同月比) | 1,864 円 ( 99.8%)       |
| 月間m <sup>2</sup> 売上(前月) | 5.8 万円 ( 7.0 万円)  | 平均店舗面積           | 1,935.3 m <sup>2</sup> |
| 月間坪売上(前月)               | 19.3 万円 (23.0 万円) | パート比率(前月)        | 77.6% ( 77.7%)         |

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 1月は月間を通して気温が高めに推移し、降雪も少なかったため、生鮮食品を中心に動向が良く、全店既存店前年比100%を4カ月連続、食料品既存店前年比8カ月連続で超過した
- ・ 風邪・インフルエンザの予防対策としてか、機能性ヨーグルトおよび乳酸菌飲料の動向が好調に推移した
- ・ 冷凍食品の動向が農薬混入報道依頼、落ち込みが激しくなった

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 青果では、土物、きのこ、きゅうり、ブロッコリー、カット野菜の動向が良かった。一方で、相場高の続いたキャベツ、レタスの動きが鈍かった
- ・ 果物では、食味の良かったみかん、りんごの動向が良かった。また、いちごは寒波の影響で数量が減り、相場上昇のため販売しづらく動きが鈍かった

### ○ 水産

- ・ 鍋商材の生真だらは入荷状況が良く、相場高の影響も物ともせず順調に販売できた
- ・ 昨年ノロウィルス報道で大きくダウンしたカキは、動きが良かった
- ・ 主力のぶりが苦戦した。天然ものは比較的好調も、養殖ものが相場高の影響で動きが鈍かった

### ○ 畜産

- ・ 精肉では、牛肉、豚肉、鶏肉すべての畜種の動きが良かった。牛肉は年始に和牛のうす切りやしゃぶしゃぶの動向が良かった。平日では国産、輸入牛の切り落としを中心に販売し動向が良く、豚肉は平日の切り落としが好調で、週末はしゃぶしゃぶ用の動きが好調だった。鶏肉は相場高の影響で、単価が上昇し売上は良かった
- ・ 加工肉は、ロースハム、ベーコン、ウインナーともに動向は良かった

## ○ 惣菜

- ・天ぷらの動きが全体的に良く、中でも春野菜のたらの芽の天ぷらの動きが良かった。また、菜の花を使ったアイテムも良かった
- ・サラダ類の動向は相変わらず良かった

## ○ 日配・加工食品

- ・練り物の動きが好調に推移した。おでん商材の動きも良く、揚げ物の動向も良かった
- ・風邪、インフルエンザ対策の動きか、機能性ヨーグルトおよび乳酸菌飲料が好調に動いた。また、しょうが湯、ホットレモン、甘酒などのホットメニューも好調に推移した
- ・プレミアムアイスクリームや焼き菓子など、高単価商品の動きが良かった
- ・鍋関連の調味料（鍋つゆ、ぽん酢など）の動きが良かった
- ・新米の相場が昨年より大きく下がったため、売上の伸びはなかった

## ○ 「正月商戦」について

- ・年始は、すきやき関連（和牛・国産牛うす切り、白菜、ネギ、焼き豆腐、しらたきなど）の動きが好調だった
- ・プレミアムビールの動向が良かった。また、ワインの動きも良かった
- ・ロールケーキやショートケーキなど、デザート類の動向が良かった

## ○ 「成人の日、受験対策」について

- ・成人の日用としての刺身、寿司、オードブルなどの需要は特になかった。また、酒類で大きく伸びたカテゴリーは、特になかった
- ・受験生応援パッケージ商品については、一部の商品の動向が良かった
- ・ホット商品（ココア、しょうが湯、春雨スープ、おかゆ、雑炊など）の動向が良かった
- ・ピザトーストなどの軽食類の動きが良かった

以上